

学校だより

大阪市立今川小学校
06-6702-5653

2学期をしっかりまとめよう

校庭や今川公園の木々が葉を落とし、きれいな落ち葉のじゅうたんが目を楽しませてくれます。いよいよ、2学期最後の月となります。学習はもとより、生活についてもふり返り、2学期を締めくくれるようにしていきたいと思います。今月も子どもたちの学校生活が充実していくよう、職員一同努力してまいります。



言語環境が育む、子どもの論理的思考

今年も残すところわずかとなりました。子どもたちは2学期のまとめに向けて、学習にも生活にも意欲的に取り組んでいます。6年生は、学習用端末を用いて簡単なプレゼンテーションを行う授業も取り入れていました。最近、授業の中で子どもたちの「言葉の使い方」や「説明の仕方」が大きく伸びてきていることを感じます。これは、日々の学習を通して自分の考えを「言葉」で整理し、「相手に伝える」という経験を重ねてきた成果です。

さて、令和7年度全国学力・学習状況調査の大坂市国語（国語調査結果）を見ると、全体の正答率・平均正答数が小学校（6年）国語で平均正答数 9.1問／14問（正答率 約 65%）でした。特に、記述・思考力型問題で、目的や意図に応じて自分の考えを伝わるように書く工夫（書き方）に課題が見られることができました。言語能力は、論理的に考える力の土台です。自分の感じたこと・考えたことを言葉にしようとすると、頭の中で情報を整理し、順序立てて表現する必要があります。これは国語の時間だけでなく、算数の「なぜその方法で解いたのか」、社会の「理由をもって説明する」、生活科・理科の「気づきや予想を言葉にする」など、すべての教科に通じる力です。

こうした言葉の力は、学校だけでなく、家庭の言語環境からも大きな影響を受けます。たとえば、

- 今日あった出来事を聞いてあげる
- 子どもの話を途中で遮らず、最後まで聞く
- 親子で一緒に「なぜだろう？」と考える
- 絵本や本を読み、感想を言い合う

といった、日常のちょっとしたやりとりが、子どもたちの思考を豊かにします。

特に、低学年から中学年にかけては、子どもが自分の言葉でゆっくり話す時、少し時間がかかる「待って聞く」ことは大きな支えとなり、他者に意見を表出する信頼感や安心感になります。話すことを肯定される経験は、子どもの自信となり、考えを言葉にする力を伸ばす基盤となるからです。言葉を整えると、心も整います。慌ただしい年末ではありますが、年末年始の休みにゆっくり話を聞ける時期にもなります。聞く力・伝える力を育てる12月になりますようよろしくお願ひいたします。

校長 吉川 秀樹

2学期終業式・3学期始業式について

- 2学期終業式 | 2月23日（火）（下校 13:40頃）※給食終了後、清掃を行い、下校します。
- 3学期始業式 | 1月9日（金）（下校 13:20頃）※給食終了後、下校します。
- ☆ いきいき活動については、「いきいきだより」の予定表をご覧ください。